

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
minamiキャンドルナイト		南区役所・企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H25	H27	H28
<p>南区民が思い出に残るようなイベントを開催することで、「ふるさと意識」の醸成を図る。ろうそくの灯りに区民が集いキャンドル作り体験やアトラクションなど誰もが参加できる催しを企画することで、子どもから高齢者まで触れ合う交流イベントを開催する。</p>	<p>①キャンドルで描く地上絵 ②模擬店（障害者作業所・自治会等で運営） ③アトラクション（区域内の大学・団体等によるステージ） ④キャンドル作り体験（廃油を活用したキャンドル作り体験） ⑤学生によるブースの出店（クリスマスリース作成など） ⑥フィナーレの打上花火</p>	参加者数	1400人 (H26は雨天中止)	2000人	2200人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<p>○ 思い出に残るイベントを開催することで、南区に対するふるさと意識の醸成につながるのと同時に、多くの人と連携して事業を実施することにより、人と人とのつながりの大切さを見つめ直すきっかけ作りにもなる本事業は、区民と行政が協働して実施することが適当である。</p>	<p>○ 自治会・障害者作業所による模擬店の出店、NPOによる体験コーナーの実施、区内の大学生によるブース出展、ステージ進行、保育園、老人福祉施設の展示物（キャンドル瓶への絵付け）による参加など、南区内のさまざまな団体と協働で実施することができた。</p>	<p>○ 会場全体で約8000個のキャンドル瓶を使用し、イベントの最後には冬季では珍しい花火を打ち上げ、来場者の印象に残るイベントとなった。また、みみちゃんを初めとする5体のゆるキャラを登場させたり、サンタ帽を被った100人を超える学生ボランティアスタッフがイベントを盛り上げ、オープニングからエンディングまで楽しめる内容となった。</p>	<p>○ 45名の学生と協働で企画運営を行い、斬新なアイデアを提示してもらえた。準備作業も多くの学生ボランティアの参加があったため、短時間で行うことができた。来場者には心温まる「ふるさと意識」の醸成につながるような学生デザインのキャンドルや区内保育園・グループホームに作成していただいた絵付け瓶等を鑑賞してもらうことができ、運営協力側も来場者側も満足の得られるイベントとなった。イベントの規模は年々拡大し、参加者も増えているが、ボランティア学生も増員されているためコストは昨年度と同程度で運営できた。</p>		
⑤自立発展性	総合評価				
<p>○ 今後も南区にある大学と連携し、若者の持つ構想力や行動力を活かして、企画段階から事業を作り上げていくことが期待される。来年度も引き続き企画委員として大学生に参画を呼び掛けるとともに、各種団体からの参加も呼び掛けていく。</p>	<p>○ 前年度より参加者が増え過去最多の参加者となり、夜のイベントながら最後まで子どもの参加が絶えなかった。また、打上花火をフィナーレに行うことにより、イベント最後まで多くの来場者が残り、年末の南区恒例イベントとして認識されている実感がある。子どもから大人まで幅広い年齢層の来場者が見受けられ、事業効果に掲げている「ふるさと意識」の醸成を達成できていた。また今年度は、新たな試みとして大学生と自治会との交流を図り、区域内の交流促進につながる効果も得られた。</p>				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
<p>拡充 ○<u>継続</u> 見直し 廃止</p>	<p>来年度も引き続き企画委員として大学生に参画を呼び掛けるとともに、各種団体からの参加も呼び掛けていく。また、事業の認知度を上げるために、今年度作成したPR動画を有効に活用し、広報していく必要がある。</p>				